

2016年11月7日

報道関係者各位

「食で街おこし」をキーワードに食分野のスペシャリストが討論 シンポジウム『練馬の食と農を考える』を実施

「次世代に農業を継承する」「日常的に食を楽しむ社会の創造」の実現を掲げ2001年に発足した一般社団法人日本野菜ソムリエ協会（所在地：東京都渋谷区、理事長：福井栄治）は、地域色を反映した食で街おこしをしていくことが、地域外から人の集まる仕組みとなり、今後ひとつの潮流を起こすとの考えから「食で街おこし推進協議会」を発足し、キックオフとして都内で最大の農地面積を誇る練馬区を選択、シンポジウム『練馬の食と農を考える』を実施いたしました。

シンポジウム『練馬の食と農を考える』概要

<パネラー>福井栄治



一般社団法人
日本野菜ソムリエ協会 理事長

<モデレーター>加藤秀俊氏



「大人のレストラン」シリーズ
編集長

<パネラー>里井真由美氏



シニア野菜ソムリエ
フードジャーナリスト
農林水産省 飲料・農業・
農村政策審議会委員

<パネラー>齋藤秀樹氏



俳優
飲食店“オレンジ”を
練馬にて兄弟経営

※特別ゲストの衆議院議員 すがわら一秀氏は急きょ国会出席となりました

<特別ゲスト代理>西経子氏（農林水産省 食料産業局 食文化・市場開拓課 和食室長）

■実施日 2016年11月4日

■会場 練馬区役所 19階会議室

■参加者 50名（募集要項：練馬区在住・在勤・在学の方、練馬区が好きな方）
※8割強が区民の方で、飲食店経営者・生産者

■討論内容

冒頭で西氏ご挨拶。日本の食と農業の関わり世界から注目される日本の食、地産地消についてお話いただいた。パネルディスカッションでは、地産地消の話から始まり、いかに練馬をブランディングしていくのか、というテーマで議論が進行。

- ・練馬の強みは「消費地の中にある生産地」であることであり、都心で地産地消を実践できるのが練馬の強みではないか
- ・練馬の野菜・果物を練馬で食べる「ベジ飯（飯）」のような打ち出しをしてはどうか
- ・まずは練馬の住民が練馬の飲食店に行く流れを作っていけないか

・練馬の飲食店が10店舗でも集まって練馬の野菜を提供していくなど、個々の点の取り組みを「面」で展開できないか

など、今後の取り組みに繋がりそうな、具体的な議論で盛り上がった。

今回のシンポジウムはあくまでキックオフであり、いかに地域が一つとなって実質的な取り組みに第一歩を踏み出せるかが今後のポイントであるが、議論の中に実現可能なビジョンを垣間見ることができ、今後の実質的な展開に期待が高まる機会となった。

野菜ソムリエ 概要

■野菜ソムリエとは

野菜・果物の知識を身に付け、その魅力や価値を社会に広めることができるスペシャリストです。

■野菜ソムリエ資格者数（2016年10月末日現在）

<総会員数 58,885名>（日本野菜ソムリエ協会の他コンテンツ会員数は含まない）

ジュニア野菜ソムリエ 52,649名

野菜ソムリエ 2,732名

シニア野菜ソムリエ 143名

■野菜ソムリエの主な活動

- ・イベント・セミナー講師
- ・企画
- ・メディア出演
- ・講演
- ・執筆
- ・レシピ開発
- ・商品開発
- ・コンサルティング
- ・商品・農産物のブランディング
- ・売り場や店舗のプロデュース
- ・青果物に対するエビデンス提供
- ・料理教室主宰

他、様々なステージで、個々の個性や専門性に合わせて活躍中

■一般社団法人 日本野菜ソムリエ協会

理事長 福井 栄治

所在地 東京都渋谷区宇田川町 20-17 NMF 渋谷公園通りビル 4F

創立 2001年8月7日

事業 野菜ソムリエの資格提供と育成 食に関わる各種講座やコンテンツの企画開発・提供

拠点 東京本社／札幌支社／仙台支社／名古屋支社／大阪支社／福岡支社

本件お問合せ先：日本野菜ソムリエ協会 広報

東京都渋谷区宇田川町 20-17 NMF 渋谷公園通りビル 4F TEL (03) 5489-8636

URL : <http://www.vege-fru.com/> E-MAIL : koho@vege-fru.com